

## 議員案第 4 号

### 佐野市議会委員会条例の改正について

佐野市議会委員会条例の一部を改正する条例を次のように定めます。

令和 7 年 1 0 月 1 日提出

|     |         |   |   |   |   |
|-----|---------|---|---|---|---|
| 提出者 | 佐野市議会議員 | 早 | 川 | 貴 | 光 |
| 賛成者 | 佐野市議会議員 | 長 | 浜 | 成 | 仁 |
|     | 〃       | 慶 | 野 | 常 | 夫 |
|     | 〃       | 滝 | 田 | 洋 | 子 |
|     | 〃       | 澤 | 田 | 裕 | 之 |
|     | 〃       | 小 | 森 | 隆 | 一 |
|     | 〃       | 蘆 | 原 | 政 | 夫 |

### 佐野市議会委員会条例の一部を改正する条例

佐野市議会委員会条例（平成 1 7 年佐野市条例第 2 2 8 号）の一部を次のように改正する。

第 2 4 条に次の 1 項を加える。

- 2 前項の規定にかかわらず、同項の規定による申出は、委員長が定めるところにより、委員長が定める電子情報処理組織（委員会又は委員長の使用に係る電子計算機（入出力装置を含む。以下この項において同じ。）とその通知の相手方の使用に係る電子計算機とを電気通信回線で接続した電子情報処理組織をいう。第 2 8 条において同じ。）を使用する方法により行うことができる。

第 2 5 条第 1 項中「あらかじめ文書で」を「前条の規定によりあらかじめ」に改め、同条第 2 項中「文書で」を削る。

第 2 8 条の見出し中「文書」を「文書等」に改め、同条中「文書で」を「文書若しくは電子情報処理組織を使用する方法により」に改める。

第 3 0 条第 2 項を削り、同条第 3 項中「前 2 項」を「前項」に改め、同項を同条第 2 項とし、同条に次の 1 項を加える。

- 3 第 1 項の規定にかかわらず、同項の規定による記録の作成は、議長が定めるところにより、当該記録に係る電磁的記録（電子的方式、磁気的方式その他人の知覚によっては認識することができない方式で作られる記録であって、電子計算機による情報処理の用に供されるものをいう。）により

行うことができる。この場合において、同項の規定による署名については、同項の規定にかかわらず、氏名又は名称を明らかにする措置であつて議長が定めるものをもって代えることができる。

#### 附 則

この条例は、公布の日から施行する。

#### 理 由

地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴い、議会に係る手続きのオンライン化に関する規定を整備するため本条例を改正したいので提案するものです。

佐野市議会委員会条例の改正案 新旧対照表

| 現 行                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 改 正 案                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>(意見を述べようとする者の申出)</p> <p>第24条 (略)</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | <p>(意見を述べようとする者の申出)</p> <p>第24条 (略)</p> <p><u>2 前項の規定にかかわらず、同項の規定による申出は、委員長が定めるところにより、委員長が定める電子情報処理組織（委員会又は委員長の使用に係る電子計算機（入出力装置を含む。以下この項において同じ。）とその通知の相手方の使用に係る電子計算機とを電気通信回線で接続した電子情報処理組織をいう。第28条において同じ。）を使用する方法により行うことができる。</u></p>                                                                                                                         |
| <p>(公述人の決定)</p> <p>第25条 公聴会において意見を聴こうとする利害関係者及び学識経験者等（以下「公述人」という。）は、<u>あらかじめ文書</u>で申し出た者及びその他の者のうちから、委員会において定め、議長を経て本人にその旨を通知する。</p> <p>2 あらかじめ<u>文書</u>で申し出た者のうちに、その案件に対して、賛成者及び反対者があるときは、一方に偏らないように公述人を選ばなければならない。</p> <p>(代理人又は<u>文書</u>による意見の陳述)</p> <p>第28条 公述人は、代理人に意見を述べさせ、又は<u>文書</u>で意見を提示することができない。ただし、委員会が特に許可した場合は、この限りでない。</p> | <p>(公述人の決定)</p> <p>第25条 公聴会において意見を聴こうとする利害関係者及び学識経験者等（以下「公述人」という。）は、<u>前条の規定によりあらかじめ</u>申し出た者及びその他の者のうちから、委員会において定め、議長を経て本人にその旨を通知する。</p> <p>2 あらかじめ申し出た者のうちに、その案件に対して、賛成者及び反対者があるときは、一方に偏らないように公述人を選ばなければならない。</p> <p>(代理人又は<u>文書等</u>による意見の陳述)</p> <p>第28条 公述人は、代理人に意見を述べさせ、又は<u>文書若しくは電子情報処理組織を使用する方法により意見を提示することができない。ただし、委員会が特に許可した場合は、この限りでない。</u></p> |
| <p>(記録)</p> <p>第30条 (略)</p> <p><u>2 前項の記録は、電磁的記録によることができる。この場合における同項の署名については、法第123条第3項の規定を準用する。</u></p>                                                                                                                                                                                                                                     | <p>(記録)</p> <p>第30条 (略)</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |

3 前2項の記録は、議長が保管する。

2 前項の記録は、議長が保管する。

3 第1項の規定にかかわらず、同項の規定による記録の作成は、議長が定めるところにより、当該記録に係る電磁的記録（電子的方式、磁気的方式その他人の知覚によつては認識することができない方式で作られる記録であつて、電子計算機による情報処理の用に供されるものをいう。）により行うことができる。この場合において、同項の規定による署名については、同項の規定にかかわらず、氏名又は名称を明らかにする措置であつて議長が定めるものをもって代えることができる。